

「横浜人形の家収蔵 ひな人形展」開催！

～ちいさきものに込められた雅の世界～

会期:2月15日(土)～3月23日(日)

梅の花開くこの時期に横浜人形の家で開催する「ひな人形展」、本年はひな道具に注目します。ひな人形の変遷と共に、ひな道具に込められた雅の世界をご紹介します。ワークショップも開催予定。おひな様を見て、自分だけのおひなさまをつくってみよう！！

●見どころ1 ひな人形の変遷

「ひな祭り」は、平安時代頃に中国から公家社会へ伝わった「節会」(季節ごとの行事)と、人形遊びなどが結びつき形作られました。ひな人形も時代や地域ごとに様々に変化をして、現在へと至っています。



たちびな
(江戸時代後期)
初期のひなの
様式を残すひ
な人形です。



内裏ひな(明治時代)
玉眼(目としてガラスを
はめ込む)の使用な
ど、現在のひな人形に
近いお顔をしています。

●見どころ2 ひな道具の世界

ひな道具の多くは、大名の婚礼行列を真似て作られたとされています。また、こうした道具はひな人形にあわせて縮小して作られ、その技と工夫が楽しめます。



貝桶(江戸時代後期)
「貝合せ」に使う貝
を収める桶。
貝には花や鳥など
が描かれています。
ひな道具では約1～
2 cmの蛤の稚貝が
使われています。



蕎麦重(大正時代)
江戸時代、ひな
祭りにおひな様
にお蕎麦を供え、
後に家族で食べ
る風習がありまし
た。お盆の長さ約
4 cmの小さな作品
です。

お問い合わせ先

[→裏面もご覧ください](#)

世界にひとつ、自分だけのひな人形を作ってみよう！

●お雛さま手作り教室(有料)

○横浜人形の家友の会講師により、手作りひな人形教室を開催します。

内 容： 稚児びな(三角おて玉スタイル)
講 師： 安田智恵子
日 時： 2月14日(金) 11:00 開始～15:00 終了予定(昼休憩あり)
材 料 費： 1,000円／持ち物：裁縫道具
場 所： 横浜人形の家3階 休憩コーナー
定 員： 先着12名
申し込み方法：電話にて受付。

横浜人形の家(9:30～17:00) TEL045-671-9361

※別途入館料が必要です。(大人：300円)

※事前予約制。定員になり次第、締め切りとなります。



「稚児びな」

●ひな人形ワークショップ(無料)

○横浜人形の家友の会会員の協力によりひな人形を作るワークショップを開催します。(限定100組、なくなり次第終了します)

日 時：3月2日(日) 10:00～15:00 (当日、随時受付)

※所要時間は1時間程度

(ちいさなお子さんは保護者の方と一緒にどうぞ。)

場 所：横浜人形の家3階 休憩コーナー

参加費：無料(別途入館料は必要です)



昨年ワークショップで作成したおひなさま

開催概要

会期：2014年2月15日(土)～3月23日(日)

会場：横浜人形の家3階 第3展示室

開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日(該当日が祝日の場合はその翌日)

入館料：おとな(高校生以上)300円 こども(小・中学生)150円

ホームページ：<http://yokohama-doll-museum.com/>

●三溪園・旧柳下邸・横浜人形の家3施設の素敵な「ひなまつり」！！

「春を待つ・・ヨコハマの”お雛さまを巡ろう”」

横浜のひな祭り名所を巡る連携企画。

各施設のイベント開催期間中、各施設の入場券の半券(旧柳下邸はパンフレット)を提示にて割引価格にて入場できます。

三 溪 園：大人500円⇒400円、こども200円⇒100円

横浜人形の家：大人300円⇒200円、こども150円⇒100円

旧 柳 下 邸：無料

各施設イベント開催期間／三溪園：「合掌造りで見る雛人形」 会期：2/15～3/23

横浜人形の家：「ひな人形展」 会期：2/15～3/23

旧柳下邸：「第8回旧柳下邸の雛まつり」 会期：2/15～3/9

●新設！！

「3D映像コーナー」

2013年12月27日から、文教大学情報学部広内研究室にて開発された3D仮想展示システムにより制作された3D映像にて、人形の家所蔵作品の3D映像を公開しています。

3D映像でご紹介するのは、当館が所蔵する「人間国宝」平田郷陽の全作品17点や常設展示などで展示している人形。ズーム機能により、名品や小さな作品を細部までご覧いただけます。質感なども実物に近く、なかなか迫力がありますよ。

場所：3階 日本の人形コーナー